

# 会 議 録

□全部記録    ■要点記録

<b>1 会議名</b>	令和3年度 第2回姫路市観光戦略推進会議
<b>2 開催日時</b>	令和3年10月14日（木曜日） 13時00分～15時00分
<b>3 開催場所</b>	姫路市役所北別館 3階 講義室
<b>4 出席者又は欠席者名</b>	（出席者）姫路市観光戦略推進会議 委員11人 （事務局）観光課、姫路観光コンベンションビューロー
<b>5 傍聴の可否及び傍聴人数</b>	傍聴可 傍聴人（0人）
<b>6 議題又は案件及び結論等</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 報告事項             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 令和3年度第1回姫路市観光戦略推進会議委員発言要旨について</li> <li>(2) 姫路市における観光の現状について</li> </ol> </li> <li>3 協議事項             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 姫路市観光戦略プラン骨子案について</li> <li>(2) 意見交換「滞在型観光の推進について」</li> <li>(3) 意見交換「インバウンド観光の推進について」</li> </ol> </li> <li>4 事務連絡</li> <li>5 閉会</li> </ol>
<b>7 会議の全部内容又は進行記録</b>	議事要点については別紙参照

<p>市長</p>	<p><b>1 開会（13：00）</b></p> <p>市長挨拶</p> <p><b>2 報告事項（13：05）</b></p> <p>【説明】</p> <p>(1) 令和3年度第1回姫路市観光戦略推進会議委員発言要旨について</p> <p>(2) 姫路市における観光の現状について</p> <p><b>3 協議事項（13：10）</b></p> <p>【説明】</p> <p>(1) 姫路市観光戦略プラン骨子案について</p>
<p>座長</p>	<p>ご質問、ご意見等があれば、自由に発言をお願いしたい。</p>
<p>委員</p>	<p>戦術としては的を射ており、また、MICEを含め、いろいろと取り組まれているが、前段階として、例えば、テレビの企画会議で姫路を取り上げたくなるか。また、姫路で1時間特集番組をやってみたいかなど、数都市の候補の中から選ばれるセールスポイントやストーリーを作ることが重要であり、この点をもう少し議論してもよいのではないかと。また、ストーリーの掘り起こしに関しては、観光プロデューサーのような方が戦略的に、ストーリーを組み立てるべきではないかと。</p>
<p>委員</p>	<p>姫路城であれば、1時間の番組を作ることができるのではないかと。</p> <p>また、現在策定中の特別史跡姫路城跡保存活用計画に観光戦略の要素を取り入れることで、姫路城はもちろん、動物園の跡地活用による歴史テーマパーク化が可能になるのではないかと。</p> <p>その他、宿泊した観光客の多くは、施設外で食事をするなど、姫路城周辺の繁華街には、美味しい店舗が多数存在するが、他都市の名物づくりと比較して、アピールが弱い。姫路商工会議所が実施している姫路まちなかバルなどの充実をはじめ、姫路だけではなく、播磨一円で、デジタルマーケティングや、ポータルサイトづくりなどのデジタルコンテンツの更なる活用を図るべきではないかと。</p>

委員	<p>姫路城という1時間番組を作れるポテンシャルがありながら、姫路城より来城者が多い熊本城と比較すると、やはり宣伝力の仕組みに相違が見られるのではないかと。</p>
委員	<p>熊本城との大きな違いとして、姫路城は姫路駅に到着すると見えるため、お城だけを見て帰る人が多い。先ほど、1時間番組の話があったが、姫路城以外のものを開発するのか、または、更に姫路城周辺を含めて活性化に取り組んでいくのかとの議論をもう少し深めてもよいのではないかと。熊本などを含め、他都市と比較して、姫路はお城を見て帰ろうかとなってしまったため、姫路城周辺を含め、活性化する必要があるのではないかと。</p>
委員	<p>夏休みを利用して国宝・犬山城を擁する犬山市を訪れた。城周辺は、インスタ映えするようなお土産物屋や飲食店で食べ歩きができ、若者がデートスポットとしてSNS等で紹介するなど、城下町として、魅力的に整備されていることに驚いた。</p> <p>姫路でも、姫路駅からお城までの距離で、商店街や大手前通りを活かしたウォーカブルなまちづくりが大事なのではないかと。また、姫路城に近い大手前公園や姫路城三の丸広場を活かした大規模イベントが開催できる点は大変魅力的である。</p> <p>イベント会場はもちろん、商店街や大手前通りを活かすような城周辺の観光を魅力的に盛り上げることで、滞在時間の延長に繋がるのではないかと。</p>
委員	<p>姫路城だけではなく、城周辺の美術館や歴史博物館をはじめ、家島でのカヌーやカヤック体験、地引き網体験などの動きのあるコンテンツを取り入れた具体的なプランを作ってはどうか。また、格式張った宿泊施設ではなく、リーズナブルな施設で家族が楽しめるコンテンツなどを造成してはどうか。</p>
委員	<p>観光に関する貴重な意見や発言を具体的に誰がどのような体制で実行していくのかとの視点が欠けているのではないかと。また、体制については、姫路観光コンベンションビューローが、観光事業者の声も聞きながら、マーケティングやマネジメント組織として、DMOを目指している。こちらの組織をどのような方法で活かしていくのか、今回の観光戦略の目玉になるのではないかと。</p> <p>姫路では、様々な団体が観光振興に向けた取り組みを行っているが、DMOが観光戦略を踏まえ、多くの観光事業者をまとめ、情報発信や広域連携などを進めるようになれば大きく変わっていくのではないかと。</p>

委員	<p>骨子案では、具体例として、独自のものが入っているが、一般的に言われていることを姫路市に当てはめたようで、姫路らしさや、新しさに欠ける。</p> <p>また、インバウンドは重要であるが、日本の観光産業の収益の多くを支えている国内旅行者も大切にしなければならない。</p> <p>その他、農林水産や商工業の分野との連携を深めることで、国際取引やファンの増加、社員旅行や報奨旅行などへの繋がりも出てくる。</p>
委員	<p>姫路に在住の人が見せたいと思っているものは、東京の人にとって見たいものとは限らないため、外部の人の目を入れるべきではないか。姫路に縁もゆかりもない観光客や外国人が見たいと思うストーリーやコンテンツ作りが必要ではないか。</p> <p>観光は、地元住民が犠牲になり、観光客に楽しんでいただくものではないか。観光エリアは、犠牲を伴うものである。</p> <p>また、食ベログなどに一部あるが、例えば、姫路で行くべき、美味しいものベスト10など、カタログ化やリスティングして、まとめて発信すべきではないか。</p> <p>今後、地元住民を含め、観光振興を進めるにあたり、行政も意識改革に取り組んではどうか。</p>
座長	<p>委員の意見に対し、事務局の意見を伺いたい。</p>
事務局	<p>外部の人の目で見るという点は重要だと思われる。</p> <p>現在、着地型観光の推進に取り組んでいるが、行政の立場として、網羅的なものが多く、なかなかピンポイントの施策を打ち出すことが難しいなど、次の段階に到達できていない点がある。委員の方々の意見を受け、何かアドバイスをいただければと思うので、引き続き活発な議論をお願いしたい。</p>
事務局	<p>数年前まで、日本で唯一の世界遺産であり、国宝である姫路城を保全する立場の部署から、現在、活用する立場の部署となり、今回、視点を絞ってはどうかとの意見をいただいたことで、正直迷いを生じているが、委員の方々の意見を受け、本市の観光戦略の行く末を考えたい。</p>
座長	<p>観光を変えるのは、“よそ者”と“若者”と“馬鹿者”であると言われている。</p> <p>姫路市に住まれている内側の視点もあれば、他の観光地と比較できる外側の視点に加え、元々姫路市で生まれ育ち、現在は市外に住まわれ、内も外も両方の論理も分かる委員も参加しており、それぞれ違う視点で、議論を進めていくことができればと思</p>

委員	<p>う。</p> <p>5年後の観光の姿を想像した場合、DMOによるデジタルマーケティングの活用や達成数値を盛り込むとともに、専門人材を配置させるのがよいのではないか。</p> <p>世界遺産であり、国宝でもある姫路城の保存活用計画には、どの程度観光戦略が盛り込まれるのか。</p>
事務局	<p>現在、策定中の保存活用計画は、特別史跡地内の将来像を描くもので、観光の具体的なものはないが、同じ観光スポーツ局が所管しているため、観光の思いなどは十分考慮している。</p>
座長	<p>協議事項(2)に移らせていただく。事務局の説明後、ご質問、ご意見等、自由に発言をお願いしたい。</p>
事務局	<p><b>【説明】</b></p>
事務局	<p>(2) 「滞在型観光の推進」について</p>
委員	<p>滞在型観光を推進するためには、観光客が滞在せざるを得ないような魅力的なコンテンツが必要ではないか。</p> <p>フィルムコミッションの活動の一つとなるが、ロケの誘致にとどまらず、姫路を聖地化することで、新たなコンテンツの創出に繋がるのではないか。例えば映画祭のようなイベントを開催し、国内外から監督やプロデューサー、クリエイターを招聘し、その距離を近くすることで、クリエイターなどが触発され、作品につながる。神戸や山形では、映画祭などを開催している。</p> <p>また、姫路城のインスタ推奨スポットや飲食店を集約して発信するなど、姫路城や既存の観光スポットでのソフトコンテンツの運用不足のほか、ナイトライフの充実などが重要ではないか。</p>
委員	<p>滞在型観光の推進に向けて、尖った取り組みがなく、網羅的になり過ぎており、あまり滞りに結び付けづらい印象を受ける。</p>
委員	<p>朝か夜に絶対に来ないといけない仕組みを作ることが必要である。また、二次交通の整備や食の要素が必要不可欠である。特に、食についてのプロモーションは不足し</p>

委員	<p>ており、更なる情報発信が必要ではないか。</p> <p>また、姫路城での日の出鑑賞ツアーのほか、防犯、防災上、難しいと思われるが、姫路城に宿泊できる仕組みを検討してはどうか。</p>
委員	<p>商店街の閉店時間が早いとよく指摘されるが、商店街の成り立ちは、繁華街の反映に支えられたところもあるため、ナイトライフの充実は望ましい。また、地元住民が、来姫者に対し、お店を紹介してもらえるよう、商店街としてもお勧めできる店舗を増やすことや情報発信を行う必要がある。</p>
委員	<p>姫路は通過型の観光地という認識が強い中、会議資料にもあるように、教育旅行をより推進していけばよいのではないか。美術館や、圓教寺、家島でのカヌー体験、地引き網体験などのコンテンツが豊富であるため、教育旅行には最適であり、将来のリピーターに繋がるのではないか。また、姫路港にオーションビューのホテルを建設すればよいのではないか。</p> <p>その他、灘のけんか祭りや、ゆかたまつり、お城まつりなどのイベントを宿泊付き旅行プランで販売してはどうか。</p>
委員	<p>滞在型観光の促進のため、体験コンテンツを増やすこともあるが、住むように旅する、或いは、暮らすように旅する感覚で、2日3日の滞在ではなく、1週間から、10日、2週間といった長期の滞在型観光も視野に入れてみてはどうか。</p> <p>また、島や農村のほか、海の活用について、あまり触れていないため、島と海を活用した観光整備も検討してはどうか。</p>
委員	<p>食の話が頻繁に出ているが、まちなかバルのネットワークと姫路市産業局との連携により、坊勢の魚や姫路和牛などの食材を活用したプログラムを検討できないか。</p> <p>また、市内の宿泊施設は飽和状態であるため、これ以上建設されると京都のような状況になるのではないか。姫路市周辺には、福崎や赤穂、加西、たつの、明石など、電車に乗れば、20分程度で行くことができるため、姫路を起点として、周辺地域との連携を視野に、広域観光による宣伝を行うのが望ましい。</p> <p>その他、姫路城周辺の魅力の創造と宿泊促進の一体的な取り組みとして、毎年2月に実施している姫路城特別公開をOTAで販売するなど、自動的に宿泊せざるを得ない仕組みを作ることができないのか。</p>

座長	<p>協議事項(3)に移らせていただく。事務局の説明後、ご質問、ご意見等、自由に発言をお願いしたい。</p>
事務局	<p>【説明】</p> <p>(3) 「インバウンド観光の推進」について</p>
委員	<p>世界の観光施設ではコロナをきっかけにインターネットでのチケット購入が当たり前になっている状況の中、姫路城では現地で購入することしかできないため、まずはインターネットで入城券が購入できるようソフト面のインフラを整備してはどうか。</p> <p>クルーズ船の誘致は、インバウンド観光を推進するうえで有効だが、周遊面でのハード整備が不足しており、今のうちに整備してはどうか。</p>
委員	<p>インバウンド需要が回復するにはまだ時間がかかるため、その間に受入体制の整備を行うことは重要である。また、インバウンドに関しては、東からの誘客のほか、鳥取や岡山など、西からの誘客も当然必要である。</p> <p>また、クルーズ船による誘客に関し、宣伝効果はあるが、経済的効果だけで捉えると疑問が残る。</p> <p>その他、国でも支援しているWi-Fi整備に関し、例えば、関西空港から姫路城まで、或いは書写山までWi-Fi接続が継続できる環をは整備すべきではないか。また、紙媒体からWebやスマートフォンでの多言語表示に切り替えることも必要ではないか。</p>
委員	<p>アフターMICEのアテンドや受入体制としては、英語での事前のインフォメーションが重要である。また、事前のインフォメーションは、ユーチューブを利用するしかないのではないか。</p> <p>他都市と比較して、姫路を紹介する有力チャンネルがないため、誰かが率先して作るしかない。制作にあたり、ユーザー目線での楽しみ方や、ナイトライフ、食事など、拡散できるようなコンテンツづくりが重要である。</p> <p>その他、チケットがeコマースで買えないのは今やあり得ない。</p> <p>速やかに、デジタルトランスフォーメーションと外国語チャンネルを構築することが必要ではないか。</p>
委員	<p>外国人の宿泊客を増加させることは、宿泊業界でも一番の課題となっている。宿泊客を増加させるためには、デジタルマーケティングが重要であり、また、観光情報の収集方法は、スマートフォンが主流となっている。</p>

委員	<p>行政では、インスタグラムで質の良い画像を提供しているが、リーチ数がほとんど伸びていないため、登録者を増やす対策を講じる必要がある。そのため、例えば、日本に永住、長期滞在している外国人の方たちを招聘し、現地に発信してもらえるような、デジタルマーケティングの専門部隊を創設してはどうか。</p> <p>観光振興には、地元住民の犠牲が付きものであるという意見には同意できる。</p> <p>次世代産業である観光産業の育成には、地元住民の受入意識の再認識が必要であり、課題でもある。この認識を関係者で共有していかなければならない。</p>
委員	<p>建設的な会議の中、観光振興とは我々がサービスによって生きていくという覚悟の問題であり、日本経済の転換点ではないかと思う。</p> <p>姫路はこれまで豊かすぎた点が、おもてなしや受入体制といった問題になっているのではないか。姫路には、姫路城をはじめ素晴らしい財産があり、これまでを反省点として、問題意識を共通に持ち、観光振興に取り組んではいかかがか。</p> <p><b>4 事務連絡（14：57）</b></p> <p><b>5 閉会（15：00）</b></p>